

jura®

IMPRESSA F40

取扱説明書



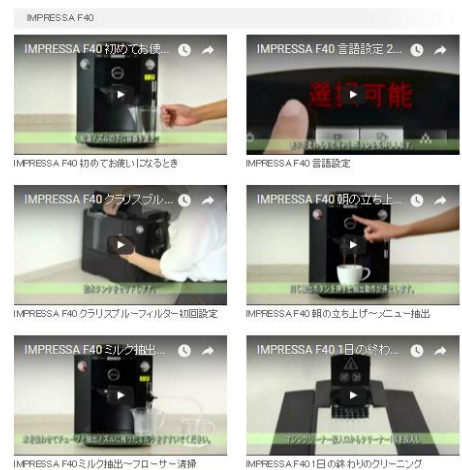
Rev2.3

安全上の注意	3
各部の名称	6
初めてお使いになるとき	7
プログラムモード（その他の設定）	10
基本操作（コーヒー抽出、お湯の抽出、カス箱、排水トレイ）	12
ミルクの抽出（プロフェッショナルファインフォームフローサー）	15
抽出口クリーニング（清掃）手順	18
その他の清掃	19
クラリスブルーフィルターの交換方法	20
トラブルシューティング	21
消耗品	23

パソコンやスマートフォンで IMPRESSA F40 操作ムービーを
ご覧になる場合は <http://www.brewmatic.co.jp/movie.html>
または、下の QR コードを読み取ってアクセスしてください。



サポート



製品写真について

一部にボディ一色が異なる製品の写真を使用しています。

安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読みください）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起ったりする可能性があることを示しています。

一般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないでください。水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いて、すぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。（電源コードを抜く時には感電をしたり火傷をしたりしないようにしてください。）
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性があったりする場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーカスが無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、躓いたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因になります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付け、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。

- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かなかったりした時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは、家庭用又は業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしったりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

注意

- 設置を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 設置をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚し、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置をし、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が 33℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- お湯でなく必ず水を給水してください。
- 水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類は使用しないでください。

操作を行なう時の注意事項

警告

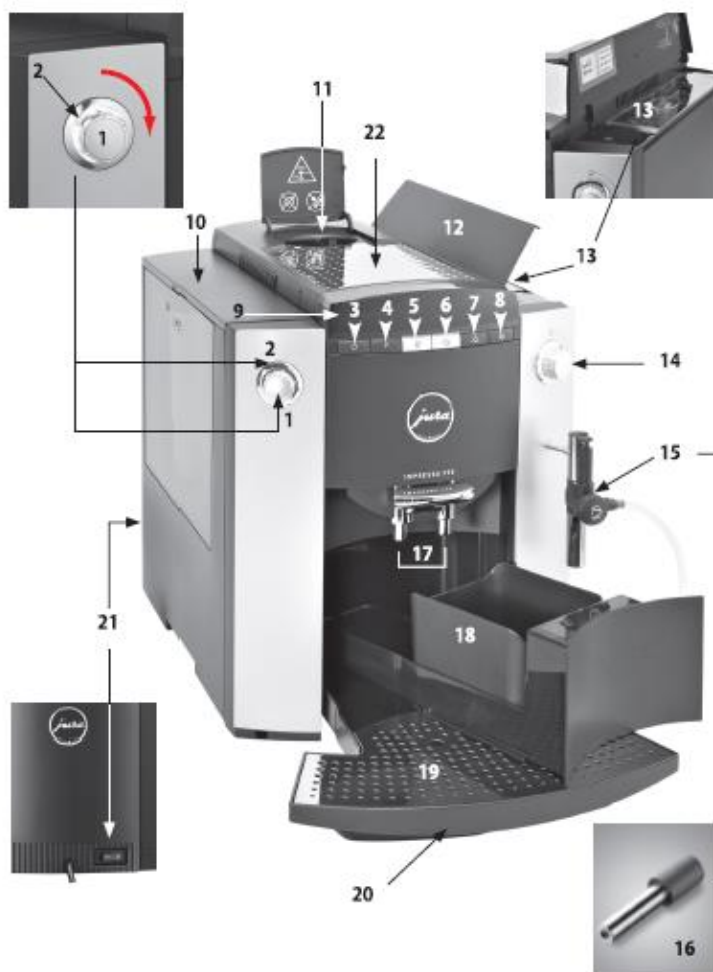
- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をしてください。火傷や怪我の原因になります。また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレイ方向に向けてください。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。

- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- コーヒー豆ホッパー作動中にホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- ミルクシステムの洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。部品の清掃に食器洗浄機は使用しないでください。熱で歪みが生じ、故障する場合があります

 **注意**

- 着脱式給水タンク内の水は必ず毎日交換をしてください。
- 着脱式給水タンクには、お湯や熱湯を入れないでください。常に水を給水してください。
注)お湯ではなく必ず水を給水してください。
注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類、純水は使用しないでください。
- 着脱式給水タンクを取り外さない状態で給水タンクの中に直接水を注いで給水する事も出来ます。
この時には、本体の他の部分に水がこぼれたり、かからないように十分に注意をしてください。
- 給水後は、給水タンクの蓋をきちんと取付けてください。
- コーヒーホッパーは定期的(2週間)に内部をよく清掃してください。放置しておくとも雑菌が繁殖する事があります。

各部の名称



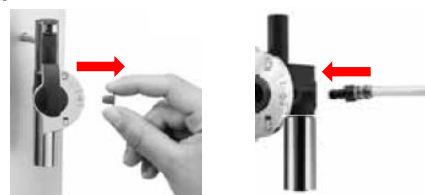
- 1：ロータリースイッチ
- 2：イルミネーションリング
- 3：ON/OFF スイッチ
- 4：プログラミングスイッチ
- 5：1 杯取り抽出スイッチ
- 6：2 杯取り抽出スイッチ
- 7：リンスボタン
- 8：スチームボタン
- 9：ディスプレイ
- 10：給水タンク
- 11：コーヒー粉投入口
／兼クリーナー投入口
- 12：豆ホッパーカバー
- 13：豆ホッパーカバー（中蓋）
- 14：スチーム/給湯ノブ
- 15：プロフェッショナルファイン
フォームフローサー
- 16：給湯ノズル
- 17：コーヒー抽出口
- 18：カス箱
- 19：排水トレイすのこ
- 20：排水トレイ
- 21：主電源スイッチ
- 22：カップ台

● ディスプレイ表示について（以降、英語と日本語 2 種の表記にてご説明します。）

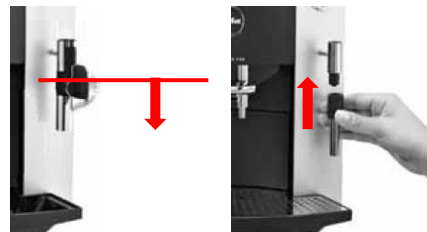
READY	PRESS RINSE	CLEAN	FILTER	FILL WATER
選択可能	押す リンス	洗浄	浄水器	要補充 水
メニューボタン を選択してください	リンスをしてください (リンスボタンを押します)	クリーニングを 行ってください	クラリスブルーフィ ルターを交換してく ださい (P20 参照)	給水タンクに水を 補充してください
EMPTY TRAY	FILL BEANS	TRAY MISSING	EMPTY GROUNDS	
トレイ内 要廃棄	要補充 豆	トレイ リセット	要廃棄 粕	
排水トレイを 空にしてください	豆ホッパーに コーヒー豆を補充し てください	排水トレイがセット されていません	カス箱を 空にしてください	

■ プロフェッショナルファインフォームフローサー/給湯ノズルの準備

プロフェッショナルファインフォームフローサーをご使用になる場合は、赤いキャップを取り外し、同梱のチューブを取り付けてください。



給湯ノズルをご使用になる場合は、プロフェッショナルファインフォームフローサーを取り外し、給湯ノズルをとりつけてください。



■ 電源を入れる

1. 給水タンク(10)を水で濯ぎ、タンクに水を入れてマシンにセットします。(満水:約 1.6L)
2. マシン背面左下の主電源スイッチ(21)を ON します。
(まだ表示は出ません)
3. マシン正面の ON/OFF スイッチ(3)を押します。



■ 動作準備

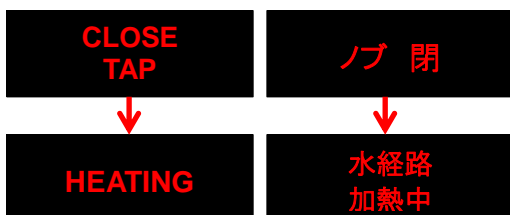
1. プロフェッショナルファインフォームフローサーの下に容器を置きます。
2. ディスプレイに下記表示が出ます。



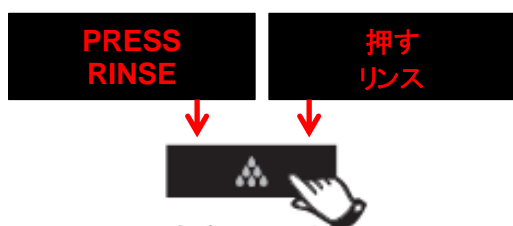
3. スチーム / 給湯ノブ(14)を時計回りに給湯マークの位置まで回します。湯がプロフェッショナルファインフォームフローサーから出るので容器で受けます。(標準で約 150cc。水は自動的に止まります。)



4. ディスプレイに下記表示が出たら、スチーム / 給湯ノブ(14)を元の位置に戻します。マシンは自動的にヒーターを始めます。



5. ディスプレイに下記表示が出たら、コーヒー抽出口(17)の下に容器を移動し、リンスボタン(7)を押します。約 30～60 秒間お湯が出て自動的に止まります。



6. ディスプレイに下記表示が出たら、コーヒー抽出の準備ができました。



■ 表示言語の準備(初期言語は英語になっています)

1. プログラミングスイッチ(4)を長押しし、表示が変わったらロータリースイッチ(1)を回してください。



ディスプレイに下記のように表示されたら、ロータリースイッチ(1)を押します。



(**FILTER** / **浄水器**の表示からロータリースイッチを反時計回りに 2 コ回すと **LANGUAGE** があります)

※プログラミングスイッチ(4)を長押しする前に、**LANGUAGE** の表示が出る場合が有ります

※**LANGUAGE** が見つからない場合や操作に迷ったらプログラミングスイッチ(4)を押すと

READY / **選択可能** に戻ります。改めて操作してください。

2. ロータリースイッチ(1)をまわして、下記のように表示させたら、ロータリースイッチ(1)を押します。



3. プログラミングスイッチ(4)を押して、設定を終了します。



■ クラリスブルーフィルター(スケール除去フィルター)の初回設定

※初めてお使いになる時にフィルターの設定を行ってください。

1. 給水タンク(10)を取外し、中の水を空にします。
カートリッジホルダー(A)のつまみを手前に引きながら上に持ちあげます。
クラリスブルーフィルターを右図のように給水タンク内にしっかりと差し込みます。(B)
カートリッジホルダーを元の位置に戻し、カチッと音がして固定されたことを確認してから水を入れマシン本体に戻します。



2. プログラミングスイッチ(4)を長押ししてディスプレイに下記のように表示させます。



3. **FILTER / 浄水器** の項目でロータリースイッチ(1)を押します。
4. ロータリースイッチ(1)を回して下図のように表示させ、スイッチを押して決定します。



5. 下図の表示が出たらプロフェッショナルファインフォームフローサー(15)の下に容器(500ml以上)を置きスチーム / 給湯ノブ(14)を時計回りに給湯マークまで回します。



6. 約 500ml の水が出た後、自動的に止まり下記表示が出たらスチーム / 給湯ノブ(14)を元の位置に戻します。



7. **READY / 選択可能** 表示が出たら設定は終了です。



プログラムモード(その他の設定)

■ プログラムモードの入り方、戻り方。

- 入り方 :プログラムボタン長押し
- 戻り方 : プログラムボタン短押し



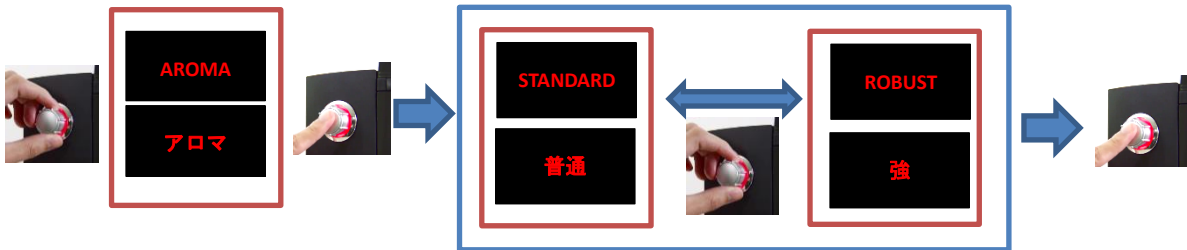
■ プログラムモード

ロータースイッチ回す  項目、設定、数値の変更	ロータースイッチ押す。  項目入り、決定。	茶色枠 : 画面表示  上段:英語、下段:日本語	青色枠 : 選択、変更  設定変更、数値変更
--	--	---	---

● FILTER / 浄水器 (クラリスブルーフィルターの使用切り替え)

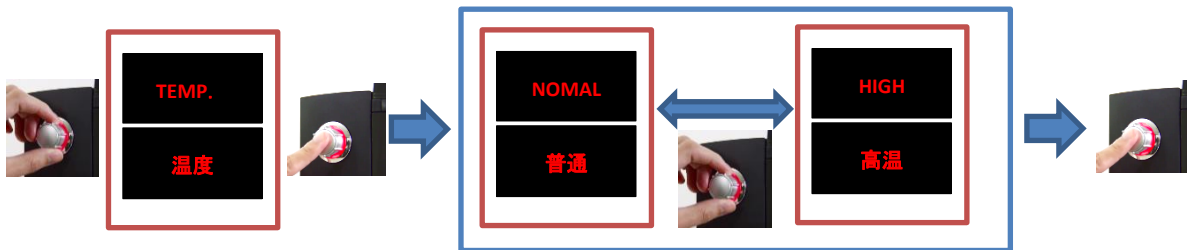
※ 詳細は P9 『クラリスブルーフィルター(スケール除去フィルター) の初回設定』を参照。

● AROMA / アロマ (1杯取りコーヒー濃度の粉量増し 約1g ※2杯取りを除く) <注1>

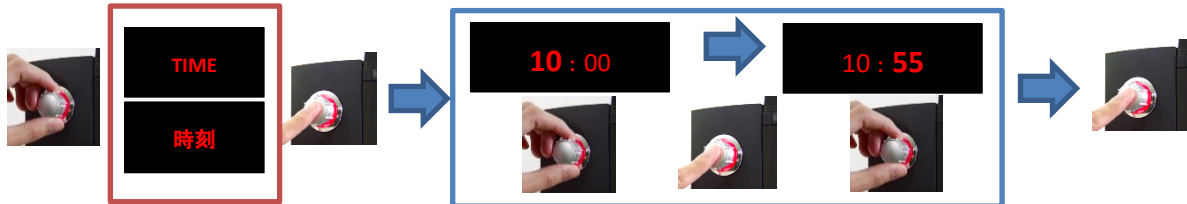


● TEMP / 温度 (お湯の温度設定 約 80℃ ~ 85℃ ※NORMAL/HIGH の差 約 2℃)

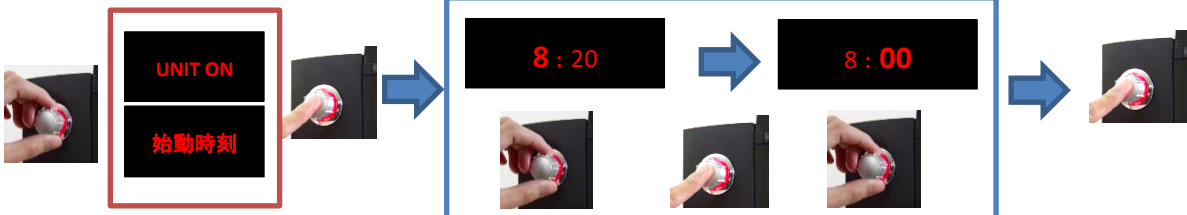
※温度は使用状況により異なります。<注2>



● TIME / 時刻 (現在の時間設定) ※注電源 OFF、コンセントを抜くとリセットされます。<注3>

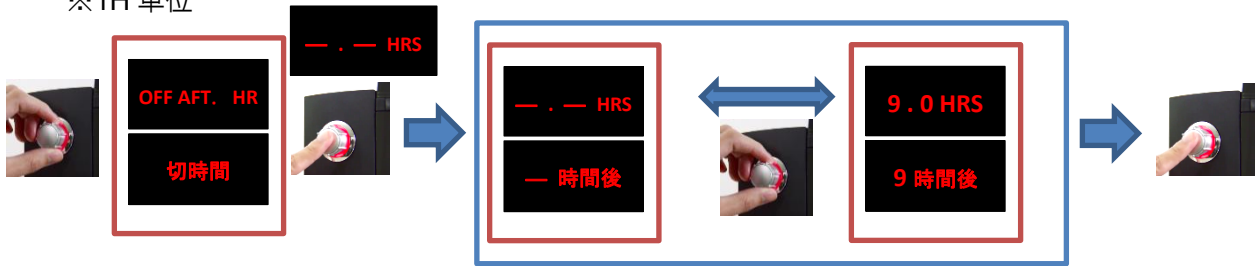


● UNIT ON / 始動時刻 (自動で電源が入る時間設定 ※TIME /時刻を未設定の場合表示されない)<注3>

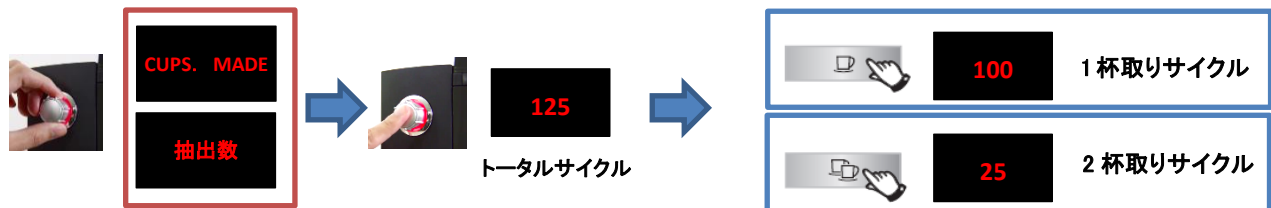


- **OFF AFT. HR / 切時間** (抽出後に自動で電源を OFF する時間。設定: OFF から 9.0H)

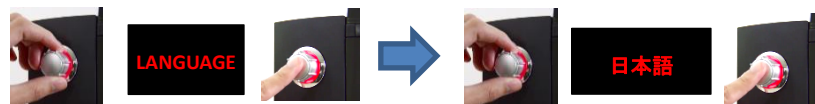
※1H 単位



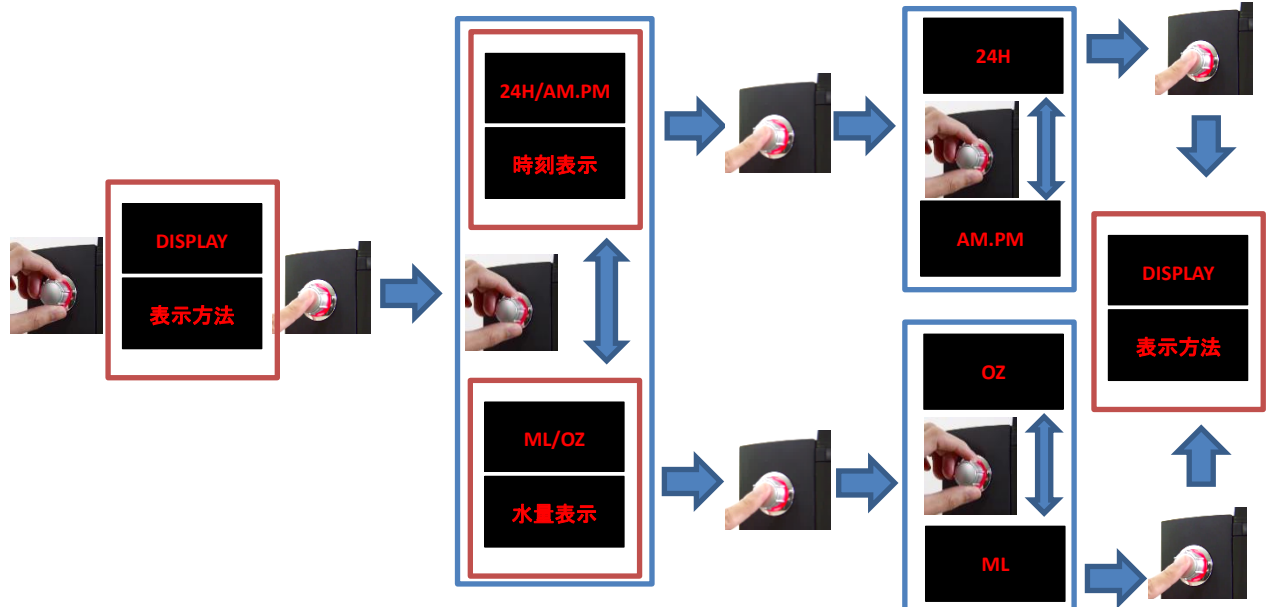
- **CUPS. MADE / 抽出数** (抽出回数の確認が出来ます)



- **LANGUAGE** (表示言語の変更: 英語、ドイツ語、中国語、韓国語、日本語)



- **DISPLAY / 表示方法** (時刻表示、水量表示の変更)



〈注1〉粉量は挽き目や使用する豆により異なります。

〈注2〉お湯の温度はタンクの水温、室温、使用状況により異なります。

〈注3〉主電源スイッチを切ったり、コンセントを抜いた場合など電源供給が切れた場合は時間はリセットされます。

基本操作

■ 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる。

1. 豆ホッパーカバー中蓋(13)を外し、豆ホッパーにコーヒー豆を入れます。(MAX:約 200g)
2. 豆ホッパーカバー中蓋(13)を取り付けて豆ホッパーカバー(12)を閉じます。



■ コーヒー抽出口の高さ調整

コーヒー抽出口(17)をカップの高さに合わせて調整ができます。

- 1 杯取りのときは 2 本の抽出口の中心に、
- 2 杯取りのときは 2 本の抽出口それぞれの下にカップを置きます。



■ コーヒーの抽出(1 杯取り)

1 杯取り抽出スイッチ(5)を押すとコーヒーが抽出されます。
抽出量、コーヒー濃度を変更する場合は下記の手順で行えます。

1. 抽出量設定

ディスプレイに右記表示が出ている時に、

READY

選択可能



ロータリースイッチ(1)を押すと前回抽出時の設定量が表示されます。

変更したい場合は、ロータリースイッチ(1)を回してお好みの抽出量(25ml~240ml ※5ml 単位)を表示させます。4 秒ほどすると READY/選択可能に戻り設定数値が記憶されます。

抽出中にロータリースイッチ(1)を回しても変更出来ません。

抽出が完了すると、その時の設定数値が記憶されます。

※ 抽出中に変更した場合はコーヒーが抽出量に達した時点で抽出が終了します。



2. コーヒーの濃度選択

1 杯取り抽出スイッチ(5)を押すとコーヒーが抽出されます。

1 杯取り抽出スイッチを押す回数でコーヒーの濃度(挽き豆量)を決定します。



注:濃さの設定は記憶されません。

注:濃さは薄い方向へ戻せません。

押す回数	ディスプレイ表示	粉量目安※
1 回押し	MILD / マイルド	約 6.5g
2 回押し	NORMAL / ノーマル	約 8g
3 回押し	STRONG / ハード	約 10g

※ 粉量に関しては挽き目や使用する豆によって異なります。

※ 抽出中でもロータリースイッチ(1)を回すことで抽出量を変えることができます。

また、むらし抽出後再度 1 杯取り抽出ボタン(5)を押せば、抽出を途中で止めることができます。

※ 抽出量を設定後、2 杯取り抽出スイッチ(6)を押すと抽出量は自動的に 2 倍になります。

※ ディスプレイに表示される量(ml)は目安であり、実際の量には多少の誤差が生じます。

※ コーヒーの濃度はスイッチを押す長さによっても変更できます。長く押すほど濃度は濃くなります。(上記 3 段階)

■ コーヒーの抽出(2杯取り)

2杯取り抽出スイッチを押します。



1. 出量設定

ロータリースイッチ(1)を回して抽出量(5ml 単位)を変更出来ます。

※ 表示されるのは1杯あたりの抽出量です。



2. コーヒーの濃度選択

2杯取りの場合は、濃度選択は出来ません。粉量目安 約14.5g

◆ 挽き目の調整方法

注：抽出中にコーヒーがポタポタと出て **OPEN TAP / ノブ開** と表示が出たら下記の工程をお試しください。

- ▶ プロフェッショナルファインフォームフローサーの下に容器を置き、スチーム / 給湯ノブ(14)を時計回りに給湯マークまで回し、**CLOSE TAP / ノブ閉** 表示が出たら元に戻します。
- ▶ 豆ホッパー内のダイヤルを1段階粗く(●の大きい方へ)して再度抽出します。改善されなければ、更にもう1段階粗くします。



■ コーヒー粉抽出の方法(デカフェ抽出)

コーヒー粉抽出：挽いたコーヒー粉を使用してコーヒーを抽出する機能



- ▶ **インスタントコーヒーはご使用できません。(故障の原因になります)**
- ▶ 挽目が細かい粉を使用すると出方悪い(ポタポタ等)事があります。別の粉をご使用ください。
- ▶ 投入する粉量が少ない場合、エラーとして投入した粉を排出して停止します。適量を投入してください。
- ▶ 粉を多く入れすぎると故障の原因になります。適量の粉を投入してください。(投入上限粉量:15g)
- ▶ 付属コーヒースプーンを使用する場合は、1回の抽出に使用する粉はコーヒースプーン擦り切れ2杯を上限にしてください。それ以上投入した場合故障の原因になります
- ※ 付属コーヒースプーンの1杯あたりの粉量:擦り切れ約7.5g
- ▶ 粉を投入後、約1分以内に抽出を行わない場合、粉は排出され初期状態に戻ります。再度抽出する場合はフタを閉じてから改めて投入してください。

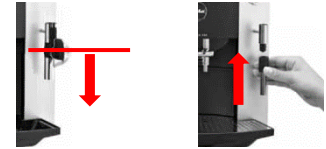
◇ 前提条件：マシンを使用する準備ができていない状態。

1. コーヒー抽出口の下にカップを置きます。
2. コーヒー粉投入口フタを開けるとディスプレイが **FILL POWDER / パウダー 要補充** になります。
3. 付属のコーヒースプーンで粉を計量して投入します。
4. フタを閉じるとディスプレイが **SELECT CUP BUTTON / パウダー 要選択** になります。
1杯取り、2杯取りボタンを押すとコーヒーが抽出されます。



■ お湯の抽出

給湯ノズルをご使用になる場合は、プロフェッショナルファインフォームフローサーを取り外し、給湯ノズルをとりつけてください。



1. 給湯ノズル下にカップを置き、給湯ノブを開けるとお湯が出ます。



2. ロータリースイッチを回して抽出量を決めます。(25ml～450ml)



3. 設定量に達すると、**CLOSE TAP / ノブ閉**表示が出てお湯が止まりますので給湯ノブを閉じてください。



■ コーヒーカス・排水トレイの捨て方

1. コーヒーカスを捨てる

- ① 約 16 杯の抽出をカウントするとディスプレイに下記の表示が出ます。

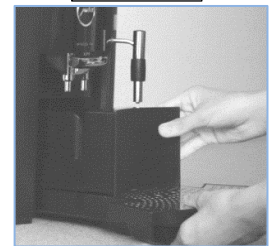
※選択したコーヒー濃度によりカウント数は変わります。(MILD / マイルド換算)

**EMPTY
GROUNDS**

**要廃棄
粕**

- ② 右写真-1 のように本体から排水トレイを引き出します。
(前端を軽く持ち上げるようにすると簡単に外れます)
- ③ カス箱を取り出して中に溜まったコーヒーカスを捨て水ですすぎます。
この時、排水トレイに溜まった排水も捨ててください。

写真-1



※ 排水トレイを外している時は、下図のように表示されますが排水トレイを元に戻すと表示は消えます。

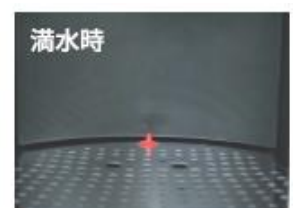
**TRAY
MISSING**

**トレイ
リセット**

2. 排水トレイの排水

- ① 排水トレイ(20)に排水が溜まると、排水すのこ(19)に赤い排水マーカースが目視で確認できます。(満水:約 0.7L)
中に溜まった排水を捨てて元の位置に戻します。

※排水がいっぱい状態でトレイを引き抜くと、こぼれる場合がありますので、排水マーカースが出る前にこまめに捨てることをお勧めします。



ミルクの抽出(プロフェッショナルファインフォームフローサー)

■ プロフェッショナルファインフォームフローサー使用方法

プロフェッショナルファインフォームフローサー(15)を使用すると、ツマミ(ダイヤル)の位置調整によりカプチーノ用のミルクフォーム(泡立ちミルク)やスチームミルク(ホットミルク)の抽出が可能です。

- ※ プロフェッショナルファインフォームフローサーは毎日洗浄し、常に清潔に保ってください。
- ※ プロフェッショナルファインフォームフローサーが本体にしっかり取付けられている事をご確認ください。正しく取付けられていなかったり、ノズルに乾いたミルクが詰まっていたりするとスチーム噴出中に突然ノズルが外れる恐れがあります。



1. スチームボタン(8)を押します。※STEAM READY / スチーム選択可能になるまで待ちます。



2. スチーム / 給湯ノブ(14)を時計回りに回すと水っぽい蒸気が出るので自然に止まるまで待ちます。※手などにかからないように注意してください。
スチーム噴出中はディスプレイに以下の表示がでます。



3. ミルクホースを直接牛乳パックに差し込むか、ミルククーラー等に取り付けます。
※ミルクは成分無調整のものをお勧めします。

プロフェッショナルファインフォームフローサーの下にカップを置き、スチーム / 給湯ノブ(14)を時計回りに回します。

- ※ スチームはボタンを押してから3分経つと解除されます。STEAM READY / スチーム選択可能表示が消えている場合は再度1からやり直してください。
- ※ STEAM READY / スチーム選択可能 の表示が消えている時に給湯ノブを回すと、ミルクの混ざった湯が出ます

4. 設定した秒数に達すると下記表示が出るので、スチーム / 給湯ノブ(14)を元の位置に戻します。



- ※ 抽出中でも給湯ノブを元の位置に戻せばスチームを止められます。
- ※ STEAM READY / スチーム選択可能 表示が出ている間は、いつでもスチームを出すことができます
- ※ 給湯ノブを閉じていない間は、ノズル内に残った水分やミルクが落ちてくる場合があります。
- ※ ミルクフォームの量＝スチームの噴出時間は、ロータリースイッチで1秒単位に変更する事が出来ます。
- ※ カップのサイズやお好みに合わせてスチームの秒数を調整してください。
- ※ ロータリースイッチで設定を行わない場合は、現在(前回抽出時)の秒数が自動的に適用されます。

■ 使用後のミルクライン洗浄について

1. 抽出後の洗浄(ミルク使用后、しばらく使わない場合)

プロフェッショナルファインフォームフローサー使用後は右図のように、ぬるま湯または水を吸わせて洗浄してください。

※長時間放置すると残ったミルクが固まり、つまりの原因となります。

【洗浄手順】 チューブの先端を適量のぬるま湯または水にひたし、スチーム / 給湯ノブ(14)を開きます。

排出される水がある程度きれいになるまで続けてください。

※STEAM READY / スチーム選択可能 表示が消えてしまっている場合は、再度スチームボタンを押します。(P15 の使用方法 1～3 参照)



空の容器

ぬるま湯

2. 1日の終わり

1日の終わりにはミルクチューブクリーナー(洗浄溶液)を使用して洗浄してください。

(1) クリーナーを準備します。

洗浄溶液は、付属のミルクチューブクリーナー
約 15cc と水 150cc で希釈します。



空の容器

洗浄溶液

(2) チューブの先端を洗浄溶液にひたし、スチーム / 給湯ノブ(14)を開きます。

※ STEAM READY / スチーム選択可能 表示が消えてしまっている場合は、再度スチームボタンを押します。(P15 の使用方法 1～3 参照)

※ プロフェッショナルファインフォームフローサーの選択は、そのままでも洗浄は可能ですが、最初にスチームミルク側にいっぱい回して約 50cc(1/3)洗浄後にミルクフォーム側にいっぱい回して、残り約 100ccで洗浄することをおすすめします。

(3) 洗浄溶液を吸わせた後、水のみを 150cc 準備して上記洗浄手順にそって水を吸わせてよくすすいでください。

※プロフェッショナルファインフォームフローサーの洗浄の必要性をお知らせする機能はありません。
使用後は必ず洗浄してください。

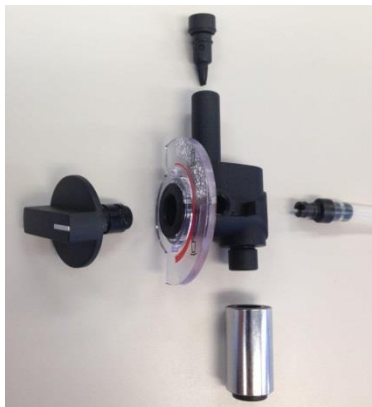
3. 1週間に1回

分解洗浄を行います。

汚れのひどい場合は、プロフェッショナルファインフォームフローサーを本体から取外し、下図のように分解します。

クリーナーを使用してつけ置き洗いし、ブラシ等でミルクカスを完全に取り除いた後、きれいにすすいでください。各パーツを元に組み立て本体に取付けます。

※組み立てを間違えるとミルクの抽出ができません。



ファインフォームフロ-サ- V1



ファインフォームフロ-サ- V2



抽出口クリーニング(清掃)手順

下記の表示が出たらマシクリーナーを使用して洗浄プログラムを行ってください。

CLEAN

洗浄



洗浄は約 15 分かかります。
洗浄プログラム終了後は通常
通り抽出可能となります。



この作業は中断できません。

※1 日に 20 杯以上抽出する場合は、毎日クリーニングすることをおすすめします。

※表示がでない場合でも、1 か月に 1 回、クリーニングすることをおすすめします。

■ クリーニング手順

※給水タンク(10)に水を十分補給してから実施してください。

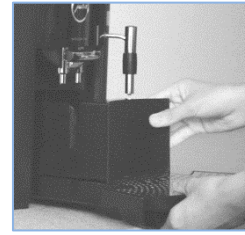
1. 下記の表示が出るまでリンスボタン(7)を長押しします。



EMPTY
TRAY

トレイ内
要廃棄

2. 排水トレイ(20)の排水とカス箱(18)のコーヒークスを捨て、マシンに戻します。



3. コーヒー抽出口(17)の下に容器を置きます。



およそ 350cc の排水がコーヒー抽出口(17)から排出されますが、
排水トレイ(20)に排水が溢れても問題は有りません。

4. 下記の表示が出たら、リンスボタン(7)を押します。

PRESS
RINSE

押す
リンス



CLEANING

洗浄中

1. 下記の表示に従い、コーヒー粉／マシンクリーナー投入口(11)にクリーナーを投入しフタを閉めます。



2. 下記の表示が出たら、リンスボタン(7)を押します。



3. 洗浄がはじまります。ここから終了まで約 13 分かかります。



4. 下記の表示が出たら排水トレイの排水とカス箱に溜まった水を捨て、それぞれをきれいに洗ってからマシンに戻します。



5. 下記の表示に戻り、再びコーヒーが抽出できます。



6. マシンクリーナー投入口(11)を乾いた清潔な布できれいに拭いてください。
外装もきれいに拭いてください

以上で洗浄プログラムは終了です。



※食器洗浄機には入れないでください。変形して不具合の原因となります。

※クリーニング途中で電源を切ったりコンセントを抜かないでください。

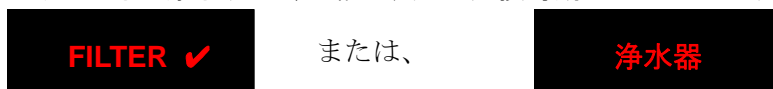
途中で止めた場合はご使用前に必ず最後までクリーニングを行ってください。

その他の清掃

- 排水トレイ(20)の排水とカス箱(18)
1日の終了時にコーヒーカスを捨て、排水トレイの排水を行い、流水で良く洗浄してください。
- 給水タンク(10)
1日の終了時に残っている水を捨て、流水で洗浄してください。

Filter または、**浄水器**表示が出た場合。。。

1. 50 リットルの水を浄水すると、下記の表示で交換時期をお知らせします。



2. ON / OFF スイッチ(3)を押してマシンの電源を切ります。



3. 電源を切った状態で、ディスプレイに下記の表示が出るまでリンスボタン(7)を長押しします。



4. 給水タンク(10)を取外し、中の水を空にします。

カートリッジホルダー(A)のつまみを手前に引きながら上に持ちあげます。

使用済みのフィルターを抜き、新しいフィルターを右図のように給水タンク内にしっかりと差し込みます。(B)

カートリッジホルダーを元の位置に戻し、カチッと音が

して固定されたことを確認してから給水タンクに水を入れマシン本体に戻します。



5. プロフェッショナルファインフォームフローサーの下に容器(500ml 以上)を置き、スチーム / 給湯ノブ(14)を時計回りに給湯マークの位置まで回します。

6. ディスプレイに下記の表示が出て水が排出されます。

(水は自動的に止まります。)



7. ディスプレイに下記の表示が出たら、スチーム / 給湯ノブ(14)を元の位置に戻します。



8. ディスプレイ表示が **HEATING / 加熱中** から **READY / 選択可能** に変わったら交換が完了となり、コーヒーの抽出ができます。



※ 浄水量が 50 リットルに達していない場合でも、取付けから 2 ヶ月経過した場合はカートリッジをお取替えください。

交換手順については、P9『クラリスブルーフィルター(スケール除去フィルター)の初回設定』を参照ください。

トラブルシューティング

■ ディスプレイに表示されるケース

ディスプレイ表示 (英語 / 日本語)		ここが原因	対応方法
FILL WATER	要補充水	<ul style="list-style-type: none"> ●給水タンクが空または、水が少ない。 ●給水タンクが浮いている。 ●給水タンク内の水位センサーフロート(浮き)が外れている。 ●水を補充してもタンク内の水位フロートが浮いてこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水を補充する。●水タンクを再セットする。 ●給水タンク内の水位センサーフロート(黒いプラスチック部品)外れていませんか？ 水位センサーフロートが外れている場合はタンク内の小部屋に収め、透明なプラスチックカバーをセットしてください。また、水タンクをふって、小部屋内でフロート部品が動くか確認してください。 ●給水タンクが汚れていませんか？タンク内は常に清潔にしてください。
FILL BEANS	要補充豆	<ul style="list-style-type: none"> ●コーヒー豆が入っていない。 ●コーヒー豆が温気っている。 ●豆ケースに異物(ビニール片・木片等)が入っている。 ●豆の油により豆ケース内で豆が貼り付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●初めてご使用の場合や豆が無かった場合は豆を補充して2~3回抽出ボタンを押してください。(抽出を行なうとアラームが消えます)挽きが細かすぎる場合もあります。 ●その他の場合は豆ケースに異物(ビニール片・木片等)が入った可能性があります。マシクリーナー投入口(11)を開け、掃除機でミル出口の粉を吸い取ってください。 ●解決しない場合は、サービスセンターに連絡してください。
EMPTY GROUNDS	要廃棄粉	<ul style="list-style-type: none"> ●コーヒーカスがいっぱいのアラーム表示。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カス箱カウンター数に達しました。カス箱を取り出し、カスを捨てた後10秒後に再度セットしてください。
TRAY MISSING	トレイリセット	<ul style="list-style-type: none"> ●排水トレイがキッチンと入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●排水トレイをキッチンとセットする。 ●一度トレイを取り出し、10秒後に再度セットしてください。 ●解決しない場合は、サービスセンターに連絡してください。
EMPTY TRAY	トレイ内要廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ●排水トレイ内の排水が溜まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●トレイを清掃し、10秒後に再度セットしてください。 ●解決しない場合は、サービスセンターに連絡してください。
FILTER	浄水器	<ul style="list-style-type: none"> ●前回交換から50L使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●交換手順に従ってクラリスブルーフィルターを交換する。
CLEAN	洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ●コーヒー抽出が200杯または、リンスが80回行われました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マシクリーナーを使用して、クリーニングを行ってください
FILL SYSTEM	要補充水経路	<ul style="list-style-type: none"> ●給水タンクが浮いている。 ●クラリスブルーフィルターの目詰まり。 ●初めてご使用の際は、P7動作準備をご参照ください 	<ul style="list-style-type: none"> ●給水タンクがしっかりセットされているか、給水タンクの下に異物が挟まっていないかご確認ください。 ●フィルターを外して改善した場合はクラリスブルーフィルターを交換。 ●給水タンク下のネットフィルターにごみが溜まっていないかご確認ください ●本体給水口の外周溝に異物が入っていないかご確認ください。
OPEN TAP	ノブ開	<ul style="list-style-type: none"> ●スチーム/給湯ノブ(14)を開いて水分を排出する 	<ul style="list-style-type: none"> ●コーヒー抽出後にこの表示が出た時はコーヒーの挽き目が細かすぎる可能性があります。挽き目を粗くしてみる。P13
ERROR 1	エラー 1	<ul style="list-style-type: none"> ●異常加熱、センサー異常。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源を切り、数分待って再度電源を入れ直してください 改善しない場合サービスセンターに連絡してください。
ERROR 5	エラー 5	<ul style="list-style-type: none"> ●加熱不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切りプラグを抜いて数分後、再度電源を入れ直してください 改善しない場合サービスセンターに連絡してください。
ERROR 8	エラー 8	<ul style="list-style-type: none"> ●抽出ユニット作動エラー 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切りプラグを抜いて数分後、再びプラグをさし、スイッチを入れるとしばらく使用できる場合があります。 改善しない場合サービスセンターに連絡してください。
SCALED	CA除去	<ul style="list-style-type: none"> ●クラリスブルーフィルターの設定になっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> P9『クラリスブルーフィルター(スケール除去フィルター)の初回設定』の手順に従ってカートリッジを取り付けてください。
FAULT 1		<ul style="list-style-type: none"> ●18度以上の室温の場所でしばらく放置してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マシンが冷えた状態だと再発します。十分時間を取ってください。 ●サービスセンターに連絡してください。

■ ディスプレイに表示されないケース

トラブル	考えられる原因	解決方法
使用中に電源が落ちてしまう ※症状を放置すると基盤等の重要部品が故障する恐れがあるのでご注意ください	電気容量が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ電源を使用している機器のプラグをコンセントから外してください。 ●タコ足配線はしないでください。
	内部のヒューズ切れ	<ul style="list-style-type: none"> ●直ちに使用を中止してください。 ●サービスセンターに連絡してください。
コーヒーの出が悪い ポタポタとしか出てこない	豆の挽き目が細かすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●豆の挽き目の調整を粗くする P13 ●リンスボタン (7) でリンスを2~3回行ってください。
	フィルターの目詰まり	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターを外した状態で改善したらクラリスブルーフィルターを交換
左右の抽出量が均等でない 抽出口の片側だけ出が悪い	マシンの傾き 抽出口内部の汚れ	<ul style="list-style-type: none"> ●設置台の水平をとってください。 ●詰まっている側の抽出口を針金やクリップのような細いもので下から優しく差し込んでください。 ●何度か抜き差しを続けたのちマシンクリーナーを使った洗浄を行ってください。 ●それでも解決しない場合は、内部で汚れが固まっている可能性がありますので、修理が必要となります。
ミルクフォームがぬるい ミルクフォームが泡立たない	エアーサクシジョンの汚れ・詰り	<ul style="list-style-type: none"> ●下図のようにエアーサクシジョンを両端から押し、口が貼りついていないか確認してください。 ●それでも改善しない場合は洗浄するかスペアと交換してください。 
ミルクを吸わない ミルクフォームが出てこない	プロフェッショナルファインフォームフローサーの汚れ プロフェッショナルファインフォームフローサーの組立て不良	<ul style="list-style-type: none"> ●ミルクの固まりが詰まっている場合、応急処置としてプロフェッショナルファインフォームフローサーを外し、下図のように針金やクリップ等先の細いものでスチームの出る穴に差し込んでください。 ●※P17を参考に洗浄してください。 ●プロフェッショナルファインフォームフローサーの各部品がしっかりとハマっているか、再度ご確認ください。 
コーヒーを挽くときに異音がる ミルクが空回りして豆を挽かない	豆ケースに異物が混入した 豆ケース内にコーヒーの微粉が溜まっている 豆ケースに誤って水を入れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●豆ケース内の異物を取ってください。 ●豆ケース内のコーヒー豆を取り除き掃除を行ってください。 ●コーヒー粉投入口 (11) を開け、掃除機でミルク出口の粉を吸い取ってみてください。 ●お預り修理となります。 ●サービスセンターにご連絡ください。
設定を変えていないのに コーヒーが薄くなった	豆の油分過多によるグラインダー内部の粉詰り	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切り、豆ケース内を乾いた清潔な布で拭き取る。 ●豆の挽き目を一番粗くして数回挽く。P13 ●上記で解決しない場合は修理となります。 ●サービスセンターにご連絡ください。
カス箱が入らない	洗浄中やリンス中など、ユニットの動作中にトレイ、カス箱を抜いてしまいユニットの部品とカス箱が当たってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●カス箱を入れずにトレイだけを一旦元の位置にセットし、ON/OFFスイッチ及び本体背面の主電源スイッチをOFFにする。 ●2~3分してから主電源スイッチ及びON/OFFスイッチをONにしてREADY表示になったらトレイを抜き、カス箱を入れて再度セットする。 ●ユニットの動作音がしている間はカス箱及びトレイを抜かないようご注意ください。
コーヒーがぬるい	カップを温めていない	<ul style="list-style-type: none"> ●陶器のカップはコーヒーの熱を奪います。カップは必ず60~70℃程度に温めてからお使いください。 ●エスプレッソ等、抽出量の少ないものほど事前のカップの温めが重要です。

※上記を試しても改善されない場合は、お取引先（ご購入先）または、サービスセンター（サービスセンター連絡先は保証書に記載されています）にご連絡ください。

消耗品

主な消耗部品として、以下の部品が有ります。

部品名称	備考
豆ホッパーカバー(12)、(中蓋 13)	
給水タンクおよびカバー	
グラインダーのカッター刃	
カス箱	
排水トレイ	
排水すのこ	
コーヒー抽出口および抽出用チューブ	
プロフェッショナルファインフォームフローサー	
ミルクチューブ(接続部品含む)	
各種 Oリング、ガスケット	
抽出ユニットのピストンおよびフィルター	
ヒューズ	
コーヒースプーン	

クリーニング用の消耗品として、下記のものがあります。

部品名称	用途
ミルクチューブクリーナー	ミルク抽出経路用液体クリーナー
マシンクリーナー	コーヒー抽出経路用タブレットクリーナー

※初回に付属しているクリーナーはサンプルになります。



ブルーマチックジャパン株式会社

02132017